

令和5年度 盛岡市 都市景観賞

令和5年度 盛岡市都市景観賞 寸評前文

「一過性とは言わせない」

かつて盛岡市都市景観賞は、「総合賞」「建築賞」「緑賞」「創作賞」の4賞で構成されていました。都市景観は、建築物、緑地、それ以外の構造物や空間により醸し出されるという想いです。実際、建物以外にも住民たちのワークショップで生み出された小さな公園や、川沿いの白壁に映えるアプローチライトなども選ばれています。

その後、平成18年度に4賞は1つへ統合。昨年度からは「地域住民や団体が、継続的に取り組んでいる活動であること」というストーリーも対象に加えられました。都市景観は“建物”だけで創られるものではない、とより強く発信したのです。

さて、今年度の都市景観賞2件は、ともに建築設計事務所です。ひとつは歴史ある市街地に、他方は新興地域にあります。いずれも植栽やアプローチなど建物以外で心にくい演出を施し、周辺との調和を生み出しました。建築物がいかに優れていても、緑や周辺との兼ね合いが整わなければ評価は得られません。コロナ禍を経て資材が高騰し厳しさを感じる昨今「ニューヨークタイムズ紙に取り上げられたのは一過性だった」とは言わせない街を、都市景観を、一緒につくり続けましょう。

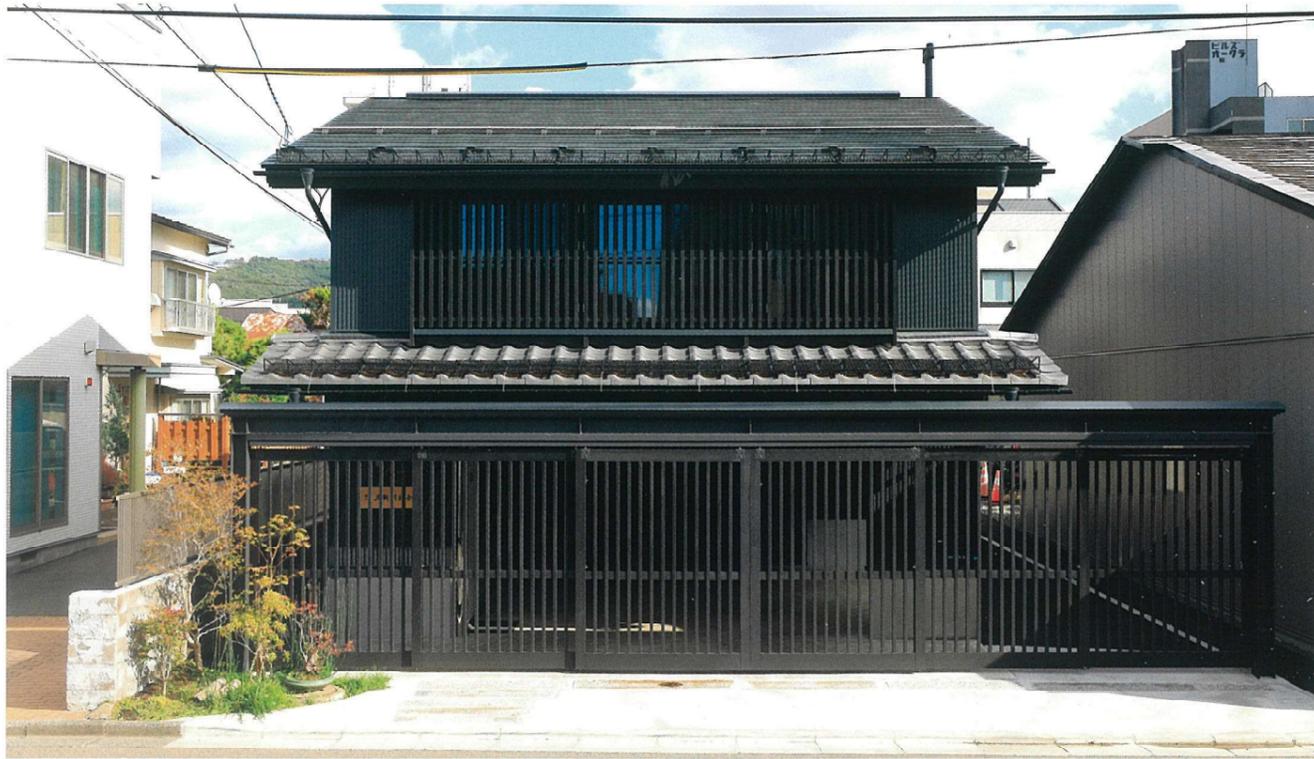
盛岡市景観形成推進委員会

委員長 金沢 滋

・ 岩山展望台から望む盛岡市 ・



「紺屋町の町舎（まちや）」（株式会社 三衡設計舎社屋）



江戸時代に奥州街道として栄えた紺屋町界隈。旧町名では紺屋町、鍛冶町、紙町など風情あふれる商人の盛岡のメインストリートです。現在も観光客や修学旅行生で賑わう歴史ある通りに、盛岡町家を彷彿させる建物ことができました。

正面に縦格子の門を配し、黒を基調とした木造2階建ての事務所は、屋根をガルバリウム鋼板（一部瓦）、外壁を金属サイディング縦張りの現代の材料を使用しています。屋根を盛岡町家の特徴である平入りの勾配屋根とし、雨樋も含めた建物全体の色を盛岡町家の色彩としてふさわしい落ち着いた色で統一されています。

門前にアクセントとなる植栽を植え、建物側面の設備機器を縦格子の門による遮蔽措置を施し、近隣のかつて都市景観賞を受賞した番屋や森八商店といった、新しくも趣ある街並みへの配慮がうかがえます。町家以外の景観にも参考になると感じられるとともに、新しい盛岡町家復活のきっかけになることを願います。



株式会社タカヤ 盛岡みなみ支店



これから伸びゆく盛岡の新しいエリアである道明地区の向中野地域内、その中心の交差点に面した鉄骨造2階建ての事務所の建物です。

周囲には同色系で建てられたショッピングエリアがあり、新しい住宅地として注目されています。十字路に対し建物は奥に配置され、しゃれた庭と植栽が印象的です。前面空間が確保されることで訪れた人へのゆとりも感じさせます。事務所の長い庇が来訪者を優しく向かい入れる様です。外壁の窯業系サイディングは木目調の茶系色、金属系サイディングは黒色系、そして大きなガラス窓で構成されており、ファサードのはね出す幕板が建物の表情を締めています。

南北の幹線道路側からの視線からも機器類が目隠しルーバーで露出しないよう、遮蔽修景が施されています。夜の明かりはまだ多くはありませんが、明かりが美しく、景観とマッチする様相です。これから発展していくこの新しい街並みづくりの手本となつてほしい、との期待を込めての受賞となりました。



●令和5年度 盛岡市都市景観賞 受賞物件 (敬称略)

名称	所在地	建築主等	設計者	施工者	完成年
「紺屋町の町舎 (まちや)」 (株式会社 三衡設計舎社屋)	紺屋町	株式会社 三衡設計舎 代表取締役社長 勝部 敬次	株式会社 三衡設計舎	伊藤建設 株式会社	令和5年
株式会社タカヤ 盛岡みなみ支店	向中野	有限会社 橋市倉庫 代表取締役社長 谷藤 大樹	株式会社 タカヤ一級建築士事務所	株式会社 タカヤ	令和4年

●応募状況と表彰

応募者数	応募件数	審査対象件数	受賞件数
16人	16件	14件	2件

●表彰基準

「盛岡市都市景観賞実施要綱第4」より

都市景観賞の対象は、完成又は改修後おおむね5年以内の建築物や工作物等（花壇などを含む）、若しくは活動であり、景観の形成に寄与するものとする。かつ、次の①及び②に該当し、加えて③以降の各号いずれかに該当するものとする。

- ①公共の場から見ることができ、又は一般に公開若しくは開放されているものであること。
- ②暫定的なものでないこと。
- ③敷地内に緑地又は広場の空間を適切に配置しているものであること。
- ④周辺地域に調和しているものであること。
- ⑤自然景観に調和しているものであること。
- ⑥歴史的景観を継承しているものであること。
- ⑦地域住民や団体が、継続的に取り組んでいる活動であること。

●盛岡市景観形成推進委員会名簿 (50音順・敬称略)

内田 信平 (岩手県立大学盛岡短期大学部 准教授)

大瀧 英知 (特定非営利活動法人いわて景観まちづくりセンター 理事)

金沢 滋 (岩手・木質バイオマス研究会 顧問)

杉本 吉武 (アートディレクター)

中居 真一 (株式会社中居都市建築設計 代表取締役)

大櫻 薫 (公益財団法人盛岡観光コンベンション協会)

加藤 一典 (国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所 計画課長)

川村 久子 (Color Studio 川村工房 代表)

鷹鷲 紅子 (有限会社鷹鷲建築設計事務所 代表取締役)

藤原 俊夫 (岩手県県土整備部都市計画課 景観まちづくり課長)



さくらパーク日戸